

すこやか
Gukoyaka



TSURUMI, S special edition

「大分県厚生連鶴見病院地域医療連携室について」

健康管理センター

「採血で気分が悪くなったことはありませんか？」

介護老人保健施設シエモア鶴見

「新施設長就任ご挨拶」

健康のワンポイント

「花粉症について」



別府 春の境川

2024.April

V. 607

広報誌「厚生連だより」

大分県厚生連鶴見病院 地域医療連携室について



大分県厚生連鶴見病院の地域医療連携室は、地域の医療機関との連携部署として機能してきました。令和4年度の診療報酬改定による外来機能報告制度の新設に伴い、令和5年10月よりかかりつけ医などからの紹介状を持って受診していただくことに重点をおいた紹介受診重点医療機関になりました。これまで以上に地域の医療機関等との連携を強化すべく機構改革を行い、令和6年2月に患者サポートセンターを設置し、「医療連携部門」、「予約・説明・入院前支援部門」、「退院支援部門」の各部門において患者さんの診療サービスを一元化し対応できるようにしました。そこで各部門での業務内容を紹介します。

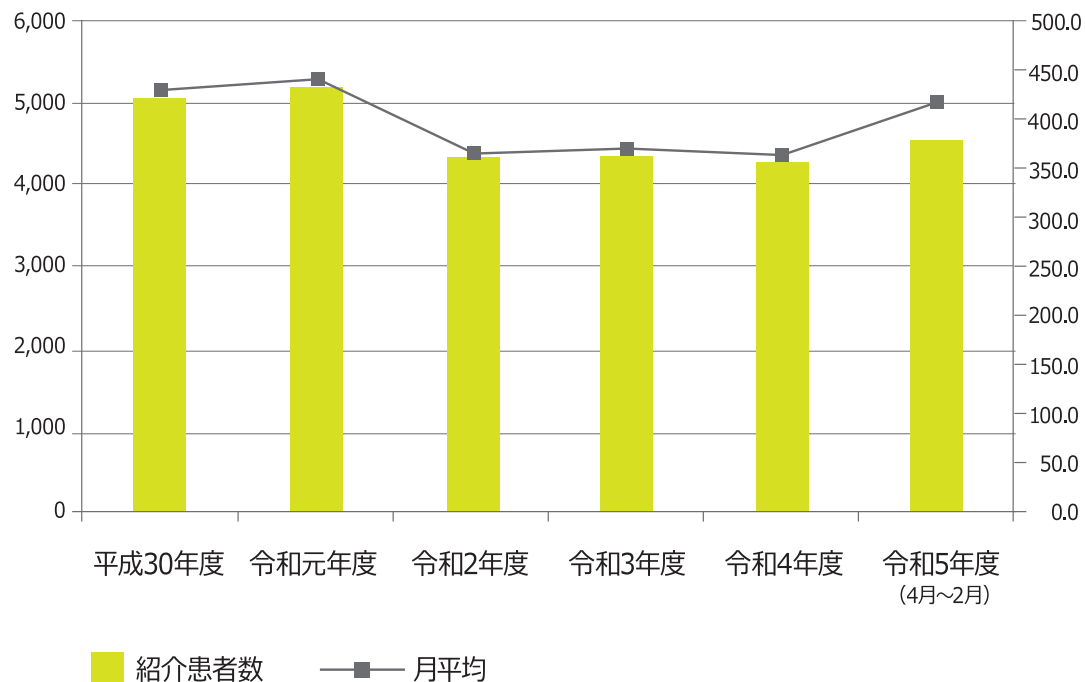
医療連携部門

地域の医療機関からの紹介予約調整や転院調整等を円滑に行えるよう看護師等が対応しています。また地域の医療機関への様々な情報提供や地域の医療従事者に向けたセミナー等を開催するといった情報発信も行っています。紹介患者数の推移は右記の表のとおりですが、令和2年度のコロナ禍の影響により減少傾向にありましたが、令和5年度はコロナの5類変更や地域の医療機関への訪問等の効果により上昇傾向にあります。



紹介患者数年度別推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4月~2月)
紹介患者数	5,060	5,178	4,329	4,355	4,287	4,551
月平均	421.7	431.5	360.8	362.9	357.3	413.7



予約・説明・入院前支援部門

患者さんから電話による診療予約部門、検査・手術・入院等の説明部門と入院前支援部門では、外来受診後に入院が決まった予定入院患者さんに対し、入院前の情報収集のため入院時支援を行っています。入院前の外来で患者さんの身体的リスク、精神的リスク、社会的リスクを把握することで入院前からの問題を抽出しています。入院前から多職種で関わることで患者さんやご家族の方が安心して入院し、治療が受けられるようスタッフ全員で取り組んでいます。

退院支援部門

入院中の患者さんの転院調整や自宅退院後の在宅サービス調整等を入院早期より専任の医療ソーシャルワーカーと看護師が介入し、医師や入院病棟の看護師やリハビリスタッフ等と連携して対応することにより患者さんやご家族の方が安心して転院や退院に臨めるよう入退院支援を行っています。また地域の医療機関、老人ホーム等の福祉施設、地域のケアマネージャーさん、行政とも連携を密にとっており、患者さんやご家族の方が不安なく退院後の生活が送れるよう対応しています。

地域医療連携室は、これからも鶴見病院が地域の医療機関の基幹的役割を果たすため、効果的な役割を果たせるために様々な取り組みをすすめていきたいと考えています。





採血で気分が悪くなったことはありませんか？

採血中あるいは採血後に気分不快・あくび・冷汗・顔面蒼白・失神(意識を一時的に失うこと)を生じる方がいます。

失神にまで至る例は外来採血ではまれ(0.01%以下)ですが、採血の経験が少ない若年者が多い学校健診での頻度が多くみられます。

このような反応を血管迷走神経反応(Vasovagal reaction.VVR)と言います。

緊張や痛みなど、精神的ストレスにより起こりやすいとされています。

針を刺す行為に伴う神経生理学的反応と考えられますが正確なメカニズムは不明です。



参考文献:標準採血法ガイドライン(GP4-A3)
2019年3月20日 第一刷発行

健康管理センターでは1回の採血で採取する血液量は約10mlです。(小さじ2杯分ほど)このようなことも確認させて頂いてます。

採血を受けられる方へ

下記に該当する項目がある方はスタッフにお申し出ください。

- ☐ アルコール消毒で、皮膚が赤くなる又はかぶれたりする方
- ☐ 採血時にご気分が悪くなる方
- ☐ 血液透析中の方
- ☐ 乳房切除手術を受けられた方
- ☐ 血液をサラサラにする薬を内服している方
- ☐ 採血後、手指へ広がる痛み、しびれなどが持続したことがある方

◎採血時の疑問など、不明点は、遠慮なくスタッフにお聞きください。

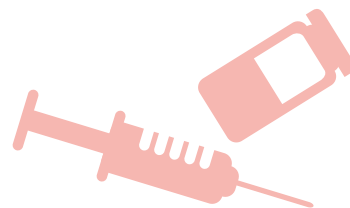


大分県厚生連健康管理センター

～採血で倒れないようにするには～

- 1.前日はしっかり休む
 - 2.日頃から水分をとる
 - 3.前日の食事を抜かない
 - 4.深呼吸をする
 - 5.ベッドに休んで採血を行う
- などの予防策があります。

当施設では、採血時に気分が悪くなったことのある方は看護師に申し出てください。ベッドに休んで採血を行います。





このたび、4月1日にシェモア鶴見の施設長に就任いたしました。

私は、シェモア鶴見に併設する鶴見病院の循環器内科で、約28年間診療業務を行ってまいり、このたび初めて老健施設に携わることとなりました。どうぞよろしくお願い致します。

介護老人保健施設(老健)は、「介護を必要とする高齢者の自立生活を支援して在宅復帰を目指すための中間施設」と位置付けられています。シェモア鶴見では、この使命を果たすため、利用者様の尊厳を守りつつ安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し、安心して自立した在宅生活が続けられるように、必要な医療、看護、介護、リハビリテーション、栄養管理等の提供に全力を尽くします。

シェモア鶴見は昨年10月に「在宅強化型」老健として、在宅復帰・在宅療養支援機能の強化をしました。個々の利用者様に応じた望ましい在宅や施設での生活が過ごせるよう、ご家族様と相談しながら、各職種のスタッフがー丸となったチームケアを提供してまいります。

「シェモア」とはフランス語で「我が家」という意味で、自宅のようなぬくもりを感じるサービスを目指しています。私のこれまでの経験を活かして、医療と介護のさらなる連携の構築を図り、これからも、より一層利用者様に寄り添ったサービスの提供に努めてまいります。



施設長 財前 博文
(大分県厚生連鶴見病院 副院長)

塗り絵

【通所】

通所ではこれまで色々な作品作りの紹介をしてきましたが、今回は『塗り絵』のご紹介です。「早く塗り絵がしたい。」とレクレーション時間の前からお声が掛かる程の人気です。元々塗り絵に興味があり経験されていた方は勿論、シェモアに来てから初めて経験する方が多く、初めは色の出し方が上手く表現できず悩んでいた方も回数を重ねるごとに上達しています。完成後は色画用紙に貼り付けてお持ち帰り頂くのですが、中には他の利用者さんに差し上げる方もいれば職員が頂くこともあり、その作品は通所廊下の掲示板に飾らせて頂いています。

塗り絵には脳の活性化が期待でき、手指のリハビリにも効果的です。またそれ以外にもリフレッシュ効果やストレス解消にもつながるといわれています。自宅でも気軽にできるリハビリですのでぜひオススメです。



ナビダイヤルについて

4/1(月)よりナビダイヤルを導入致しました。

令和6年4月1日(月)より、代表電話の混雑緩和のため、お問い合わせ専用の自動音声案内サービスを導入致しました。

上記サービス導入に伴い、下記の通り、電話番号が変更になります。

「0977-23-7111」 変更後 → 「0570-06-7111」

詳しくは、下記画像をご覧ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

自動音声案内サービス「ナビダイヤル」のご案内

代表電話の混雑緩和のため、令和6年4月1日から、問い合わせ専用の自動音声案内サービスを導入しました。ガイダンスに従って番号をお選びください。ガイダンスの途中でも操作をすることは可能です。

【ナビダイヤル】 0570-06-7111

※音声案内が流れている間の通話料金はかかりません。



ナビダイヤル
0570-06-7111

① 予約に関するお問合せ

② 病棟へのお問合せ

③ 医療費に関するお問合せ

④ 診断書等に関するお問合せ

⑨ その他のお問合せ

ナビダイヤル	固定電話		携帯電話	
	INS	ひかり電話	通常プラン	かけ放題プラン
(全国一律課金)	8.5円/180秒	10円/210秒	10円/20秒	

注)この電話番号は、全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
また、携帯電話・PHS等からの通話料金は市内・市外・かけ放題プランを問わず、お客様負担となりますことをご了承願います。

【花粉症について】

花粉症とは

今年も花粉の季節がやってきます。

大分県の今年の花粉飛散量は、日本気象協会の「花粉飛散情報」によると、例年並み、前シーズンより少ない見込みです。しっかりと対策をとって、花粉の季節を乗り切りましょう！

花粉症はスギやイネなどの花粉が原因となるアレルギー性の病気で、花粉という異物から身を守ろうとする免疫反応の一種です。

花粉症のメカニズム

- (1)花粉を体が「敵」と認識(過剰反応)
- (2)「敵」をチェックしているのがIgE抗体。その抗体は敵がきたら、肥満細胞とくっつき、そこからヒスタミン(アレルギー誘因物質)が出される
- (3)そのヒスタミン等が粘膜を刺激し、くしゃみ、鼻水、目のかゆみなどの症状で花粉を体から洗い流そうとする

令和6年の大分県の花の状況について



ポイント1 スギ花粉は2月上旬から飛散予想

ポイント2 スギ・ヒノキ花粉飛散量は例年並み(令和5年春より少ない程度)

令和6年春の花粉総飛散量の予測が発表されました。大分県でのスギ花粉は2月上旬頃に飛散開始と予想されています。大分県でのスギ・ヒノキ花粉総飛散量は、例年並みと予測されています。ただし、前シーズン比(令和5年春との比較)で見ると、少ない程度と見込まれています。

花粉症の予防について

花粉を防ぐ方法

メガネ	・花粉症用の物がよいですが、通常のメガネでも効果があります。(コンタクトレンズは不適です)
マスク	・顔との隙間を隠すことができる、不織布で立体型の使い捨てのタイプがおすすめです。
衣服	・付着しやすい羊毛などは避けてください。体に直接花粉が触れないように長袖を着るなど工夫を。 ・帰宅時には、家に入る前に服や体から花粉を落とすように心がけてください。 ・洗濯物はできる限り部屋干し、外で干した場合は十分に花粉を払ってから取り込んでください。
洗顔	・目や鼻を洗うと症状が軽くなることがあります。
その他	・睡眠不足にならないように規則正しい生活を心がけましょう。 ・お酒の飲み過ぎに注意しましょう。 ・花粉は昼～夕方にかけてが飛散のピークです。こまめに飛散状況の確認をしながら外出することも大切です。 ・花粉にも様々な種類があり、飛散時期が違います。何の花粉が原因なのか、現在何の花粉が飛散しているのか、把握することが必要です。

医療機関の受診

「花粉症」といっても、さまざまな花粉があります。ご自身がどの花粉アレルギーなのか、把握することが大切です。

また、花粉飛散時期に目や鼻の症状があると、花粉症と考えがちですが、別な原因や病気も考えられますので、まずは医療機関、かかりつけの病院を受診しましょう。

薬物による予防

様々な薬が開発されています。眠くなりにくい内服薬もありますので、医師・薬剤師にご相談ください。

大分県庁 健康づくり支援課

大分県厚生連健康管理センター
農協関係者健診受診者数

JA 名	エリア名		受診者数
JA おおいた	東部エリア	国東	86
		姫島	7
		杵築	121
		山香	1
	中部エリア	大分	39
		由布	21
	南部エリア	臼杵	16
		野津	1
		佐伯	16
	豊肥エリア	豊後大野	24
		竹田	54
	北部エリア	豊後高田	27
		中津	73
		宇佐	41
		安心院	6
	西部エリア	日田	22
		玖珠	27
		九重	0
JA べっぴん日出			126
大分大山町農協			2
JA 下郷			0
合 計			710
	2 月受診者数		3,139

編集後記

4月になり、新年度がスタートしました！心新たに新生活を満喫していきな、はりきり過ぎて疲れやすい時期でもある為、食事・睡眠・休息など必要なケアを上手に取り入れてみましょう。

N.S

